

事業所名 ナーシングデイ柊（療養通所介護）

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和8年1月27日(火) 16時00分～16時55分	
参加者	議題
利用者 0名	1. 事業所について
利用者家族 0名	2. サービス提供・管理の状況
地域住民の代表者 2名	3. ヒヤリハット・事故発生状況と改善策
市職員 1名	4. サービスの評価
地域包括支援センター職員 1名	5. サービスへの要望・助言、質疑応答など
社会福祉協議会職員 1名	6. 地域について情報交換など
事業所 2名	
会議録	
<p>※ヒヤリハットなどの内容を盛り込み、安全サービス提供管理委員会を兼ねた。</p> <p>1. 事業所について</p> <p>事業所の沿革を説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2004年 柊訪問看護ステーション開設 <ul style="list-style-type: none"> ➡ 年齢・疾患を問わず訪問、医療的ニーズが高い児にも訪問 ● 2018年 ひいらぎっこ開設 <ul style="list-style-type: none"> ➡ 児の成長に合わせ通所施設開設に至る、重症心身障害児が対象 ● 2022年 ナーシングデイ柊開設 <ul style="list-style-type: none"> ➡ 高校卒業後も通える、難病・終末期などでも通える施設を開設 <p>2. サービス提供・管理の状況</p> <p>以下1)～4)の内容をレジュメとPowerPointを使用して説明した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者の状況：令和7年12月時点4名（要介護認定の状況：要介護4：1名、要介護5：4名） 2) 職員の体制：看護師2名、介護職員2名、リハビリ職員1名 3) サービス内容 <ol style="list-style-type: none"> ①ケアの内容：機械浴・シャワー浴、他清潔ケア、食事介助、トイレ誘導などの排泄介助など ②医療処置の内容：傷の処置、胃瘻処置・管理、膀胱留置カテーテルの処置・管理、服薬介助など ③リハビリの内容：機能訓練、呼吸訓練、日常生活動作訓練、コンディショニングなど ④レクリエーションの内容：ツリーの飾り付け作成と飾り付け、夏祭りの準備、散歩、その他制作活動、ラジオ体操など 	

4) その他：月1回事業所内研修、感染対策、災害対策など

3. ヒヤリハット・事故発生状況と改善策

1) 令和7年度療養通所介護でのヒヤリハット・事故報告件数23件

2) 主な報告内容：寝衣の汚染、荷物の入れ間違い、荷物に事業所の荷物が入る、記録の忘れなど

3) 改善方法：報告書の提出と改善策の立案、申し送りなどのスタッフへの周知、適宜関連した研修の実施

4. サービスの評価

本年度は事業開始し4年目となる。日常業務に加え、イベント性のある夏祭りや散歩などの行事も継続でき、『楽しみ』の提供ができていると考える。一方、安心・安全という観点で事故が起きる前のヒヤリハット報告を徹底し、適宜業務の改善に努めている。看護学生の受け入れも継続できており、事業所の周知のみならず、「地域を知ってもらう」ということも意識的に継続できている。

5. サービスへの要望・助言、質疑応答など

- 地域包括支援センター職員

ハラスマント対策について質問あり：利用者・家族からの要望が増える中で、どこまで対応しているか。

→ニーズに合わせて対応している。対応が難しい場合はお断りすることもある。

6. 地域について情報交換など

- 事業所：地域の医療的ケアが必要な子どもに関して共有する。

- 社会福祉協議会職員：若い世代が自治会に入りにくい、瀬戸市の自治会への加入率は約65%、加入率が低いと情報が届きにくい。

→町内会に入らないと情報共有が困難、家族側の意識『つながり』が大切である。

地域にある事業所としてできる取り組み：居場所として施設を使ってもらうことで接点ができる。接点があることでつながりに結び付くか。

- 民生委員が把握できる範囲は決まっている（課題：個人情報や民生委員のキャパなど）

- 上記の課題がある一方で、地区社協の地域サロンへの参加者が増えている。

以上